

新たな投資の時代に対する 戦術的アプローチの採用

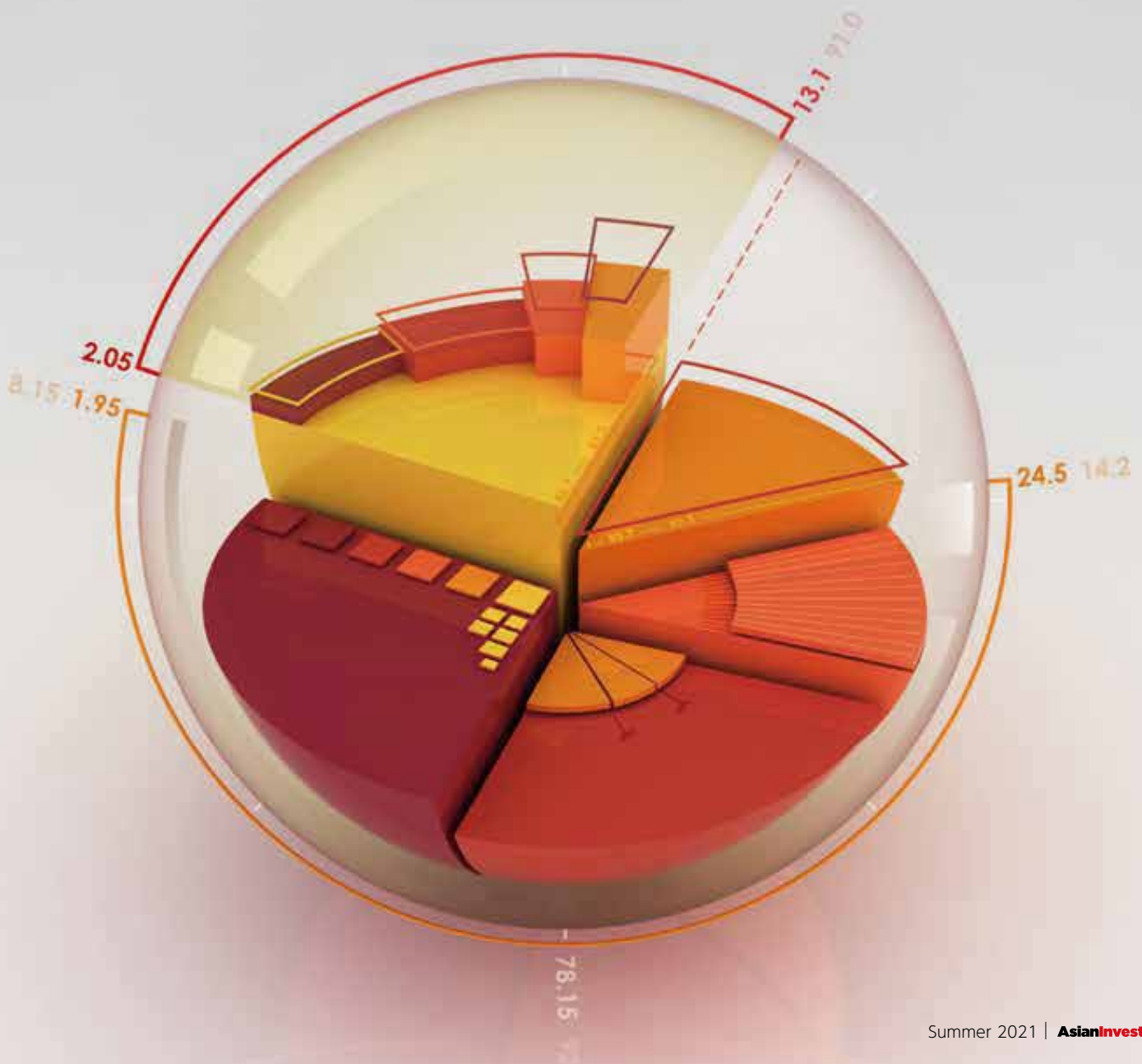
AsianInvestor 誌と S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) による独自の調査によると、アジア太平洋地域の投資家は資産の選択をより慎重に行うようになっており、2021 年の資産配分を決定する際には、長期的な元本の成長、分散、および持続可能性が重要な要素となっていることがわかりました。

S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

In partnership with

AsianInvestor



ASSET ALLOCATION

終わりがなく、目まぐるしく変化する経済情勢や市場環境を背景に、この地域の主要な資産保有者は、長期的な元本の成長と、ポートフォリオの分散に重点を置く姿勢を強めています。

この2つの目標を今年達成するため、投資家の間ではアジアの上場証券および北米のプライベート市場に注目が集まっているように思われます。同時に、投資対象資産や投資プロセスの両面で、テクノロジーやESG（環境・社会・ガバナンス）要因の影響がこれまで以上に大きくなっています。

これらはすべて、アジア太平洋地域のソブリン・ウェルス・ファンド、政府機関、保険会社、公的・民間の年金基金、寄付基金、プライベート・バンク、およびその他の資産保有者などの投資責任者105人の見解に基づいています。

これらの洞察は、AsianInvestor 誌がS&P DJIと共同で2021年3月から4月にかけて実施した調査の一環として得られたものです。この調査では、香港、台湾、オーストラリア、韓国、日本、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、およびインドを対象としています。

S&P DJIでは、世界のその他の地域に比べて回復が比較的堅調で早いことがアジアの原動力になると考えており、以上のコンセンサスはアジアに対する見方と一致しています。

S&P DJIの戦略指数部門のシニア・ディレクターであるTianyin Chengは次のように述べています。「これは、政府の景気刺激策、緩和的な金融政策、および大規模な投資によって支えられています。こうした回復は、国債市場、株式市場、および様々な資産クラスのバリエーションに重要な影響をもたらしています。」

持続可能性を考慮する

このような状況の中で、資産配分を決定する際に、多くの投資家は低炭素社会への移行を意識したポジショニングを引き続き重視しています。

これは、多くの回答者にとって、2021年に地域分散を図ることやセクターに焦点を当てることよりも、戦術的エクスポージャーをテーマとすることが重要であることを反映しています。また、テーマに投資する際に、回答者はリスク調整後の

調査結果の主なポイント

- 回答者は、2021年にはポートフォリオの中で上場株式へのエクスポージャー（比率）が最も大幅に増えると考えている。
- 回答者の約4分の1は、投資テーマとしてESGが2021年に最も高いリスク調整後リターンを提供すると考えている。
- 新型コロナウイルス収束後に、投資家がリターンを向上させるには、追加データや分析ツールを通じてESG要因を組み入れることが最も魅力的な方法である。
- 今後6ヵ月から12ヵ月の間にパッシブ戦略を増やす可能性が「高い」と答えた回答者は13%、「中程度」とした回答者は45%であった。
- 回答者にとって最大のポートフォリオ・リスクは、「金利とインフレの上昇」（36%）であり、「流動性をめぐる不透明感」（21%）がこれに続いた。
- 外部マネージャーにアウトソーシングする際のアプローチとしては、今年もバーチャル・デュー・ディリジェンスを実施することが最も望ましいとされたが（45%）、回答者の4分の1強（27%）は、外部マネージャーを新たに加える予定はないと回答している。

リターンが今年最も高くなるのはESG（26%）であると考えており、変革をもたらすテクノロジー（21%）およびヘルスケア・バイオテクノロジー（20%）が僅差でこれに続いています。

パンデミック収束後の環境においてリターンを向上させる上で、回答者は持続可能性へのコミットメントと同様に、追加データや分析ツールを通じてESG要因を組み込むプロセスが望ましいと考えています。

Chengは次のように述べています。「ここ数年にわたり、気候変動に注目が集まっていますが、今は転換期を迎えています。低炭素社会への移行を支援する投資資金について、議論するだけでなく、実際に行動に移すべき時期が来ています。」

同時に、人工知能やビッグデータ・ソリューションなどのテクノロジーや優れたシステムを導入することも、投資家にとって優先順位が高く、外部のアクティブ・マネージャーのパフォーマンスをより詳細に精査する取り組みも同様です。こ

れらのアプローチは、許容されるクレジット水準を引き下げてより多くのリスクをとるか、あるいは投資スタッフを増員するといった従来のアプローチよりも、はるかに高い効果を発揮すると期待されています。

注目されるエクスポージャー

投資テーマ別の見方を実行するため、また足元の厳しい投資環境に戦術的に対応するため、2021年にエクスポージャーを増やすことを計画している資産クラスとしては、上場株式が回答者の圧倒的な支持を獲得し、上場債券が第2位となりました。

しかし、非上場市場は依然として利回りを求める一部の投資家の関心が高く、回答者は、特にプライベート・エクイティに加えて、プライベート・デットや不動産へのエクスポージャーを増やすことを選択しています。

Chengは次のように付け加えました。「上場債券に代わる資産として、実物資産やオルタナティブ資産への配分が増加する傾向が見られます。また、その他の選択肢もあります。流動性の高いオルタナティブ投資は投資額の増減が可能であり、伝統的な資産クラスとの相関が低くなる傾向があります。これらは非常にシステムティックであるため、投資家がオルタナティブ戦略にアクセスする上で低コストかつ効果的な方法を可能にする指数化にも適しています。」

こうしたエクスポージャーを得るために、回答者が最も選好するアプローチは自社運用（36%）であり、分離勘定（23%）、ETFまたは指数連動型ソリューション（19%）がこれに続いています。

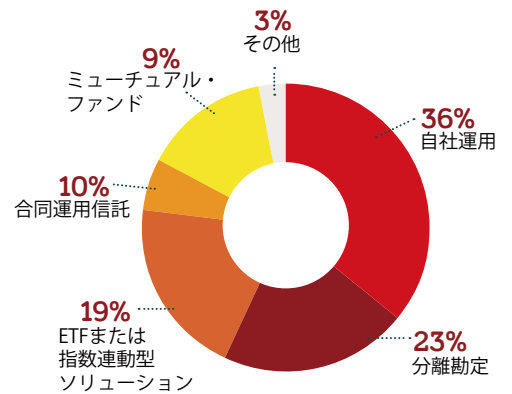
パッシブ運用への関心が薄れていることもあり、回答者によると、今後6ヵ月から12ヵ月の間にパッシブ戦略がやや増える可能性が高いように思われます。パッシブ戦略を増やす可能性が「高い」と答えた回答者は13%、「中程度」と答えた回答者は45%となりました。

Chengは次のように述べています。「アジアでは、アクティブ投資に比較的高い関心がある傾向が広く見られます。一方、欧米では、パッシブ商品にかなりの資金流入が見られます。このことは、アジアではほとんどのタイプの機関投資家においてパッシブ投資に関する理解がまだ不足していることを示しています。」

ASSET ALLOCATION

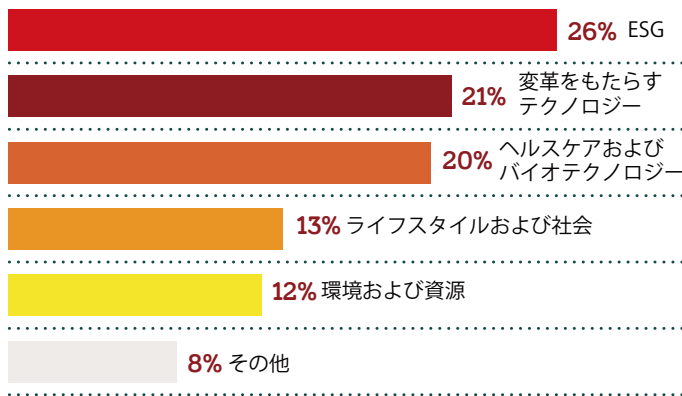
以下の資産クラスの内、2021年にポートフォリオの中で最も割合を増やしたいと考えるエクスポージャーはどれですか？

望ましいエクスポージャーを実現するために、どのビークルを選択しますか？

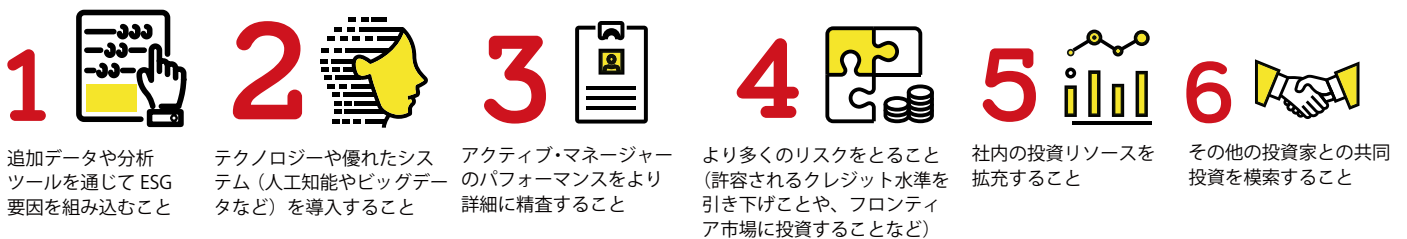


今年、リスク調整後のリターンが最も高くなるのはどの投資テーマだと思いますか？

今年の資産配分を決定する際には、何を最も重視しますか？



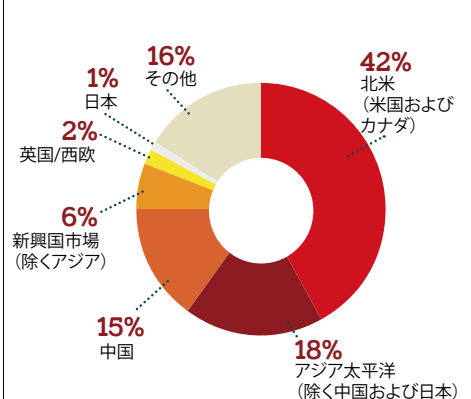
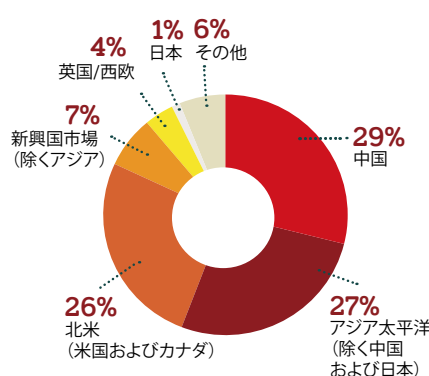
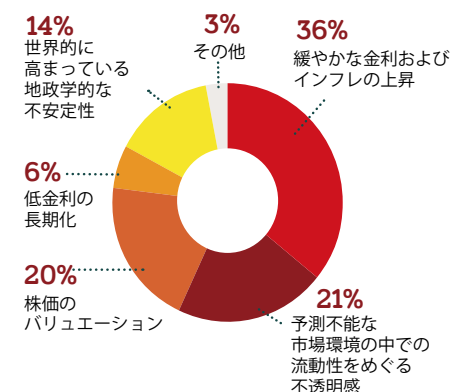
新型コロナウイルス収束後にリターンを向上させる上で最も魅力的な方法は何ですか？



2021年において最も懸念されるポートフォリオ・リスクは何ですか？

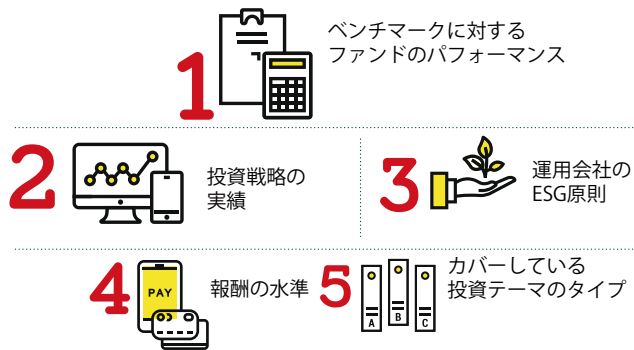
上場証券でリターンを獲得するためには、どの地域が最も魅力的ですか？

非上場証券でリターンを獲得するためには、どの地域が最も魅力的ですか？

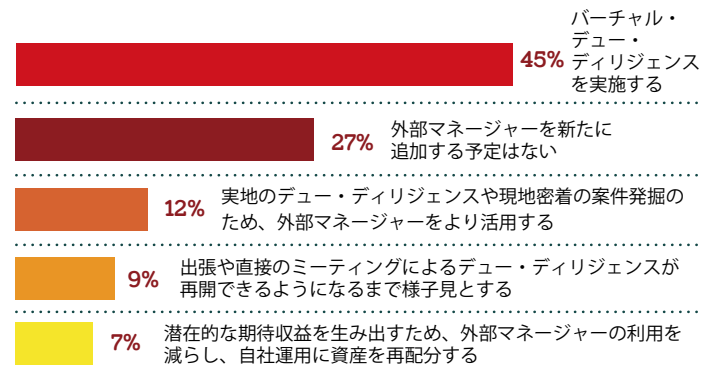


ASSET ALLOCATION

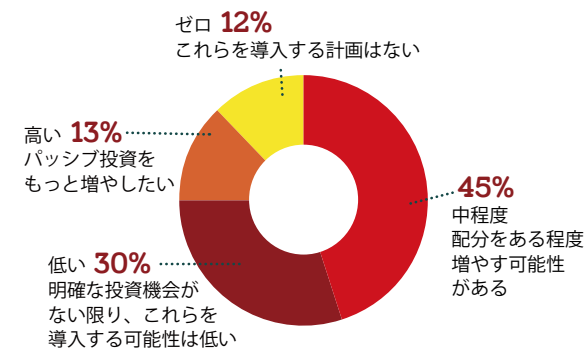
異なるファンドを評価する際に、次のどの要素を主に重視しますか？



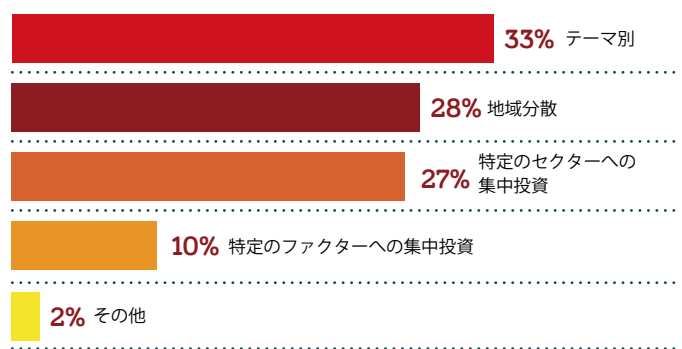
外部マネージャーに委託する際に、今年の望ましいアプローチは何ですか？



今後6ヵ月から12ヵ月の間にパッシブ商品/戦略を導入する可能性はどの程度ありますか？



2021年の戦術的資産配分を決定する上で、次のどの要素をより重視しますか？



また、回答者の36%によると、投資家は上場資産と非上場資産を理想的に組み合わせることが、2021年における最大のポートフォリオ・リスク（金利やインフレの緩やかな上昇）からポートフォリオを守る可能性が最も高いと見ています。

その一方で、回答者の21%は、予測不可能な市場環境の中で流動性をめぐる不透明感に不安を感じており、さらに回答者の20%は株価のバリュエーションを懸念しています。

地域別では、上場証券についてはアジア太平洋地域が選好されているように思われます。リターンを生み出す機会という点では、今年は中国が最も魅力的であるとした回答が29%で最も多く、その他のアジア太平洋地域（除く日本）が27%で僅差の2位となりました。しかし、約4分の1の投資家（26%）は、米国市場およびカナダ市場にも注目しています。

Chengは次のように付け加えました。「地政学的な観点からすると、一般的に関係が変化しています。経済成長が期待される中国がより多くの注目を集めています。」

しかし、非上場市場の資産からリターンを生み出す上では、北米の人氣が明らかに高く、回答者の46%が米国およびカナダに注目すると答えています。一方、アジア太平洋地域と新興国市場もある程度の関心を集めています。

考慮された選択

新たな投資環境を受けて、調査に参加した投資家の大半は、資産クラス、投資ビークル、または地域を問わず、今年の資産配分を判断する上での主要な材料として、長期的な元本の成長を考慮するとともに、ポートフォリオの分散効果を高めることを目標としています。

その根拠は、このアプローチを採用することにより、直接利回りやインカム、インフレ・プロテクション、無相関のリターンといったその他の目標も達成できるようになるためであると思われる。

しかし、戦略の一環としてサードパーティのファンドに委託している場合、新型コロナウイルスの影響に伴う混乱によっても、異なるファンドを評価する際

にベンチマークに対するパフォーマンスを重視する傾向に変化はなく、投資戦略の実績がこれに続いています。注目すべきこととして、調査の回答者はデュー・ディリジェンスにおいて、3番目に最も重要な要因として運用会社のESG原則を挙げました。

しかし、約4分の1（27%）の投資家は、年内に外部のマネージャーを新たに追加する計画はないと回答しています。年内にマネージャーを追加する計画があると述べた回答者は、外部委託を検討する際には、引き続きバーチャル・デュー・ディリジェンスが望ましいと述べました。

Chengは次のように付け加えました。「投資家は最終的に、見通しや予想に適応することで、リスクを管理し、新たに生じる投資機会を捉えることができるようなポートフォリオを構築しようとしています。そのような投資家は、より適切な情報に基づいて投資判断を下すために、外部機関に情報やサポートを求める傾向があります。」

ASSET ALLOCATION

DISCLAIMERS

Copyright © 2021 *AsianInvestor* and S&P Dow Jones Indices LLC. All rights reserved. S&P® and S&P 500® are registered trademarks of Standard & Poor's Financial Services LLC ("S&P"). DOW JONES® is a registered trademark of Dow Jones Trademark Holdings LLC ("Dow Jones"). These trademarks together with others have been licensed to S&P Dow Jones Indices LLC. Redistribution or reproduction in whole or in part is prohibited without written permission of S&P Dow Jones Indices LLC. This document does not constitute an offer of services in jurisdictions where S&P Dow Jones Indices LLC, S&P, Dow Jones or their respective affiliates (collectively "S&P Dow Jones Indices") do not have the necessary licenses. Except for certain custom index calculation services, all information provided by S&P Dow Jones Indices is impersonal and not tailored to the needs of any person, entity or group of persons. S&P Dow Jones Indices receives compensation in connection with licensing its indices to third parties and providing custom calculation services. Past performance of an index is not an indication or guarantee of future results.

These materials have been prepared solely for informational purposes based upon information generally available to the public and from sources believed to be reliable. No content contained in these materials (including index data, ratings, credit-related analyses and data, research, valuations, model, software or other application or output therefrom) or any part thereof ("Content") may be modified, reverse-engineered, reproduced or distributed in any form or by any means, or stored in a database or retrieval system, without the prior written permission of S&P Dow Jones Indices. The Content shall not be used for any unlawful or unauthorized purposes. S&P Dow Jones Indices and its third-party data providers and licensors (collectively "S&P Dow Jones Indices Parties") do not guarantee the accuracy, completeness, timeliness or availability of the Content. S&P Dow Jones Indices Parties are not responsible for any errors or omissions, regardless of the cause, for the results obtained from the use of the Content. THE CONTENT IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS. S&P DOW JONES INDICES PARTIES DISCLAIM ANY AND ALL EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, FREEDOM FROM BUGS, SOFTWARE ERRORS OR DEFECTS, THAT THE CONTENT'S FUNCTIONING WILL BE UNINTERRUPTED OR THAT THE CONTENT WILL OPERATE WITH ANY SOFTWARE OR HARDWARE CONFIGURATION. In no event shall S&P Dow Jones Indices Parties be liable to any party for any direct, indirect, incidental, exemplary, compensatory, punitive, special or consequential damages, costs, expenses, legal fees, or losses (including, without limitation, lost income or lost profits and opportunity costs) in connection with any use of the Content even if advised of the possibility of such damages.